

追加型投信／内外／株式

JPMグローバル 医療関連株式ファンド

交付運用報告書

第39期（決算日：2023年4月25日）

第40期（決算日：2023年7月25日）

| 第40期末(2023年7月25日) | |
|--|-----------|
| 基準価額 | 11,147円 |
| 純資産総額 | 89,001百万円 |
| 第39期～第40期 作成対象期間(2023年1月26日～2023年7月25日) | |
| 騰落率 | 9.8% |
| 分配金(税込)合計 | 100円 |

(注) 騰落率は収益分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「JPMオルガン・ファンズグローバルヘルスケア・ファンド」は「グローバルヘルスケア・ファンド」ということがあります。

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPMグローバル医療関連株式ファンド」は、去る7月25日に第40期の決算を行いました。

当ファンドは、投資先ファンドを通じて、世界の医療関連企業の株式および円建ての公社債を主要投資対象として運用を行い、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的とします。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。


〈お問い合わせ先〉

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

TEL 03-6736-2350

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

am.jpmorgan.com/jp

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。運用報告書(全体版)の閲覧方法: 上記URLにアクセス⇒画面右上の検索マークを選択⇒当ファンドの名称を入力して検索⇒運用報告書(全体版)を選択

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号

東京ビルディング

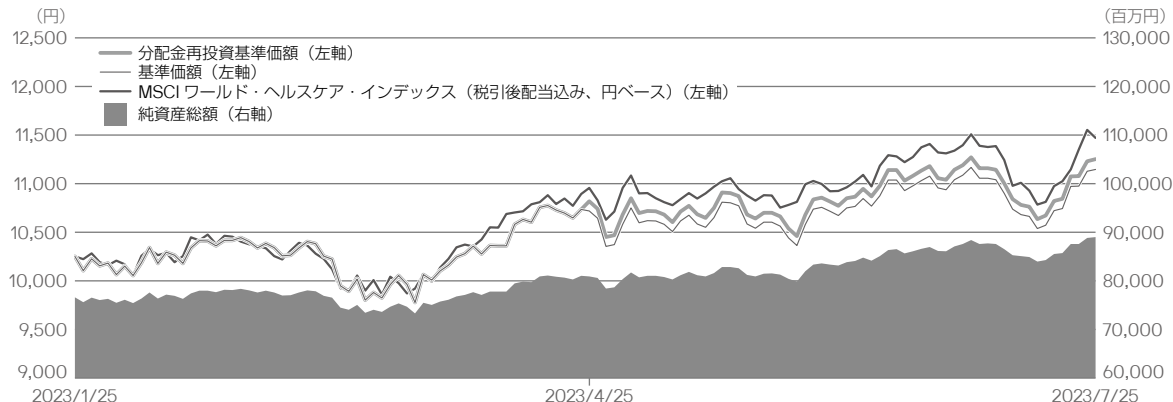
J.P.Morgan

ASSET MANAGEMENT

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

(2023年1月26日～2023年7月25日)



第39期首：10,250円

第40期末：11,147円 (既払分配金(税込):100円)

騰落率：9.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです (以下同じ)。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません (以下同じ)。
- (注) MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス (税引後配当込み、円ベース) は主要投資対象であるJPモルガン・ファンズグローバル・ヘルスケア・ファンドのベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません (以下同じ)。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス (税引後配当込み、円ベース) はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスは、MSCI Inc. が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc. は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc. に帰属しております。MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス (税引後配当込み、円ベース) は、同社が発表したMSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス (税引後配当込み、米ドルベース) を委託会社にて円ベースに換算したものです (以下同じ)。

◎基準価額の主な変動要因

当ファンドは、投資先ファンドであるグローバル・ヘルスケア・ファンドの組入れを高位に保つことにより、実質的に世界の医療関連企業の株式に主として投資を行っております。当作成期は、グローバル・ヘルスケア・ファンドにおける保有株式の価格上昇がプラスに寄与したことに加え、投資通貨の対円での上昇などが基準価額を押し上げました。セクター別では、医療機器・器具などへの投資はプラスに寄与したものの、医療・健康サービスへの投資はマイナスに寄与しました。

◎1万口当たりの費用明細

(2023年1月26日～2023年7月25日)

| 項 目 | 第39期～第40期 | | 項 目 の 概 要 |
|--------------------------|-----------|---------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 70 | 0.671 | (a)信託報酬＝〔当作成期中の平均基準価額〕×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (20) | (0.191) | 投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価 |
| (販 売 会 社) | (48) | (0.464) | 販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価 |
| (受 託 会 社) | (2) | (0.016) | 受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 26 | 0.252 | (b)その他費用＝ $\frac{〔当作成期中のその他費用〕}{〔当作成期中の平均受益権口数〕}$ |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.002) | 監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用 |
| (そ の 他) | (26) | (0.249) | その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用 当ファンドが組入れているJPMグローバル・ヘルスケア(Xクラス)の運用報酬：純資産に対して年率0.50% |
| 合 計 | 96 | 0.923 | |
| 当作成期中の平均基準価額は、10,458円です。 | | | |

(注) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 各項目の費用は当ファンドが組み入れている投資信託証券（投資信託受益証券および投資証券）が支払った費用を含んでおらず、上記以外に間接的に負担している主な費用として、当ファンドが投資している投資信託証券には以下のものがあります。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における費用等については「組入上位ファンドの概要」に表示しています。

①JPM グローバル・ヘルスケア（Xクラス）（JPM Global Healthcare X）

事務管理報酬：実費（ただし、純資産に対して年率0.15%を上限とします。）

その他費用：有価証券の売買にかかる費用・税金、外貨建資産の保管費用、臨時で発生する費用、その他の税金等

②GIM ジャパン・マネーブル・ファンドF（適格機関投資家専用）

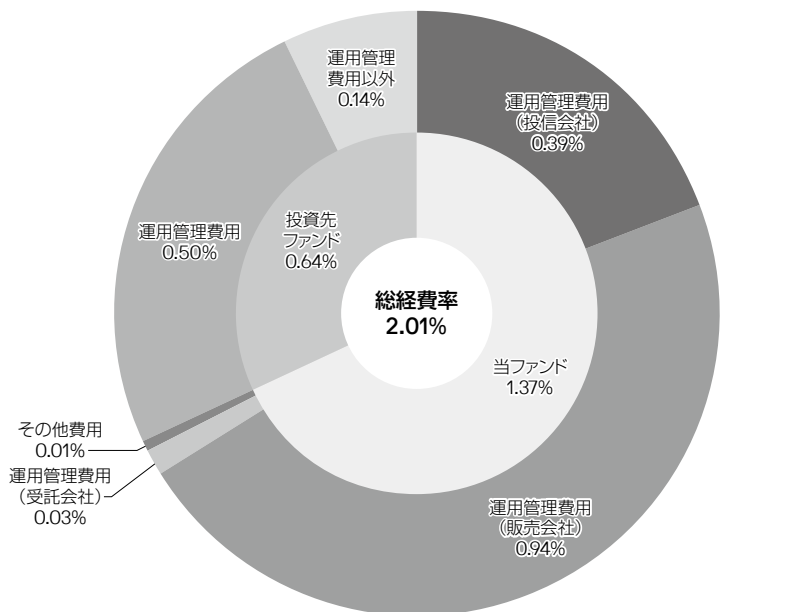
信託報酬：年率0.1045%（税抜0.095%）

監査費用：年率0.022%（税抜0.02%）ただし、年間330万円（税抜300万円）を上限とします。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を当作成期中の平均受益権口数に当作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



(単位：%)

| | |
|----------------------|------|
| 総経費率 (①+②+③) | 2.01 |
| ①当ファンドの費用の比率 | 1.37 |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.50 |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.14 |

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注) それぞれの投資先ファンドの費用は以下簡便法により算出した合計値です。

JPM グローバル・ヘルスケア (Xクラス)：当ファンドの目録見書に記載した当該投資先ファンドの運用管理費用を上記②とし、当該投資先ファンドの直近の計算期

末時点におけるTER (総費用率) を上記③とする簡便法

GIM ジャパン・マネープール・ファンドF (適格機関投資家専用)：当該投資先ファンドの直近の計算期末時点における運用報告書1万口当たりの費用明細において

用いた簡便法

(注) GIM ジャパン・マネープール・ファンドF (適格機関投資家専用)の費用は、GIM マネープール・マザーファンド (適格機関投資家専用) が支払った費用を含みます。

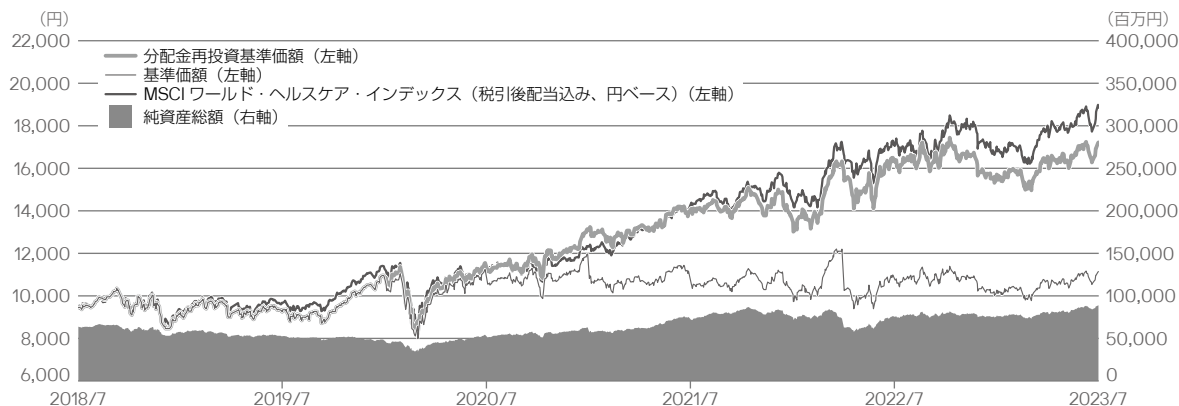
(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎最近5年間の基準価額等の推移

(2018年7月26日～2023年7月25日)



(注) 分配金再投資基準価額およびMSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス (税引後配当込み、円ベース) はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | 2018年7月25日 決算日 | 2019年7月25日 決算日 | 2020年7月27日 決算日 | 2021年7月26日 決算日 | 2022年7月25日 決算日 | 2023年7月25日 決算日 |
|--|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額(円) | 9,459 | 9,248 | 10,546 | 10,546 | 10,787 | 11,147 |
| 期間分配金合計(税込)(円) | — | 0 | 600 | 2,600 | 1,400 | 200 |
| 分配金再投資基準価額騰落率(%) | — | △2.2 | 20.6 | 26.5 | 15.9 | 5.2 |
| MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス (税引後配当込み、円ベース)騰落率(%) | — | 2.2 | 16.5 | 27.8 | 18.5 | 10.6 |
| 純資産総額(百万円) | 63,798 | 52,339 | 50,835 | 71,285 | 75,420 | 89,001 |

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

【投資環境】

○株式市況

当作成期の世界の医療関連株式市場の動向を表す MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスのパフォーマンスは+1.8%となりました。

◆作成期首から4月中旬にかけては、医療関連株式市場は上昇しました。インフレ鈍化が継続したことを受け、各国中央銀行による金融引き締めが一巡すると期待感が世界株式市場の追い風になりました。また、総じて堅調な経済指標も市場の安心材料となりました。一方で、欧米における金融機関の破綻や経営不安を受けて市場の動性が高まる局面がありました。金融引き締めを受けた景気後退への根強い懸念が、相対的に安定的（ディフェンシブ）とされる医療関連株式への支援材料となりました。

◆4月下旬から作成期末にかけては、インフレ鈍化の傾向が一段と鮮明になったことを受け、各国中央銀行による金融引き締めプロセスの終焉は近いとの期待感が世界株式市場の追い風になりました。また、金融引き締め環境下においても経済や企業業績が総じて堅調に推移したことも市場の安心材料となりました。景気の底堅さを受けて景気後退への過度な懸念が後退する中で、一部の成長期待の高い銘柄が世界株式市場の牽引役となった一方、相対的に安定的とされる医療関連株式のパフォーマンスは世界株式市場に劣後しました。

※株式市場の動きは、MSCIのインデックス（配当なし、現地通貨ベース）を使用しております。MSCIのインデックス（現地通貨ベース）は、MSCI Inc.が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。

○為替市況

為替市場では、米ドルや英ポンド、ユーロなど、多くの通貨が円に対して上昇しました。

【運用経過】

1) 基準価額の推移

基準価額（税引前分配金再投資）の騰落率は+9.8%となりました。

2) 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、投資先ファンドであるグローバル・ヘルスケア・ファンドの組入れを高位に保つことにより、実質的に世界の医療関連企業の株式に主として投資を行っております。当作成期は、グローバル・ヘルスケア・ファンドにおける保有株式の価格上昇がプラスに寄与したことに加え、投資通貨の対円での上昇などが基準価額を押し上げました。セクター別では、医療機器・器具などへの投資はプラスに寄与したものの、医療・健康サービスへの投資はマイナスに寄与しました。

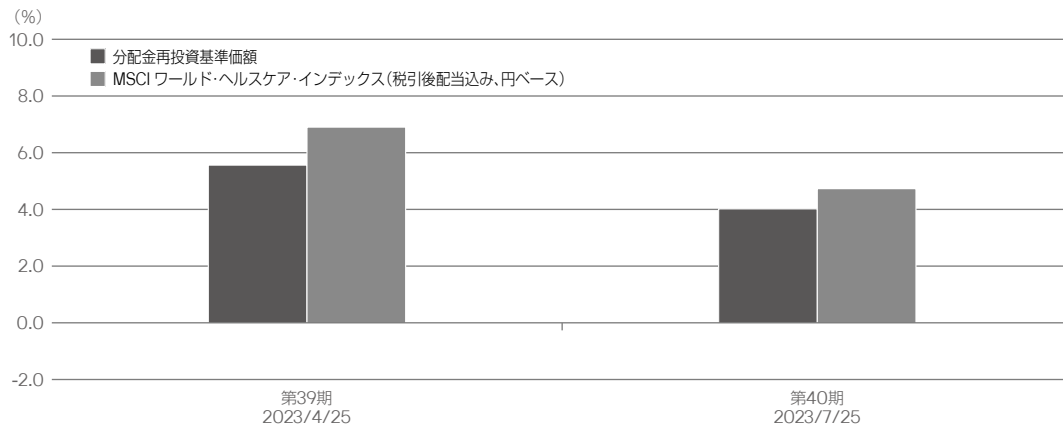
3) ポートフォリオについて

グローバル・ヘルスケア・ファンドを高位に組み入れました。

グローバル・ヘルスケア・ファンドにおけるセクター別の投資配分については、バイオテクノロジーなどへの投資比率を引き下げた一方、医療機器・器具などへの投資比率を引き上げました。

◎当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス(税引後配当込み、円ベース)は主要投資対象であるJPモルガン・ファンズグローバル・ヘルスケア・ファンドのベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません。(以下同じ)。

◎分配金

基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で100円（税込）としました。留保益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込)

| 項 目 | 第39期 | 第40期 |
|-----------|-----------------------|-----------------------|
| | 2023年1月26日～2023年4月25日 | 2023年4月26日～2023年7月25日 |
| 当期分配金 | 100 | — |
| (対基準価額比率) | 0.924% | —% |
| 当期の収益 | — | — |
| 当期の収益以外 | 100 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,519 | 1,777 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆景気後退リスクは残るものの、景気減速の程度は比較的浅く、期間も短いものととどまる可能性があります。また、インフレはおそらく天井を打ち、対処可能な水準まで徐々に落ち着きつつあることを、足元のデータは示しています。さらに、賃金の伸びが緩やかになれば、コアインフレ圧力が徐々に緩和される可能性があります。インフレ圧力が後退し、企業と消費者の支出の減少が世界経済の先行きのリスクとなる中、中央銀行は政策を転換して、利下げに踏み出さざるを得ず、これが株式市場にとっては支援材料となるものと考えます。
- ◆医療関連セクターについては、科学や技術が急速な進歩を遂げる中、高齢化する社会や世界的な需要の高まりなどを背景に、引き続き投資妙味が高いとみています。未解決の医療ニーズ分野における技術革新の進捗は著しく、長期的には科学や技術の進歩とともに成功率が高まると考えています。規制環境も本物の技術革新に対しては追い風であり、地域によっては予算等の制約があるものの、顕著な医療成果を生む画期的な治療法には正当な対価を支払う環境が世界的に整っているとみています。
- ◆当ファンドにおいては、主に医薬品、バイオテクノロジー、医療機器・器具、医療・健康サービスの4つのヘルスケアセクターに投資する中で、業種・業態や国・地域、時価総額規模等における分散にも配慮しながら、組み入れる銘柄と組入比率を決定します。また、銘柄選択を最も重要な超過収益の源泉と位置づけていることから、今後も厳選した銘柄への投資を行う方針です。

◎今後の運用方針

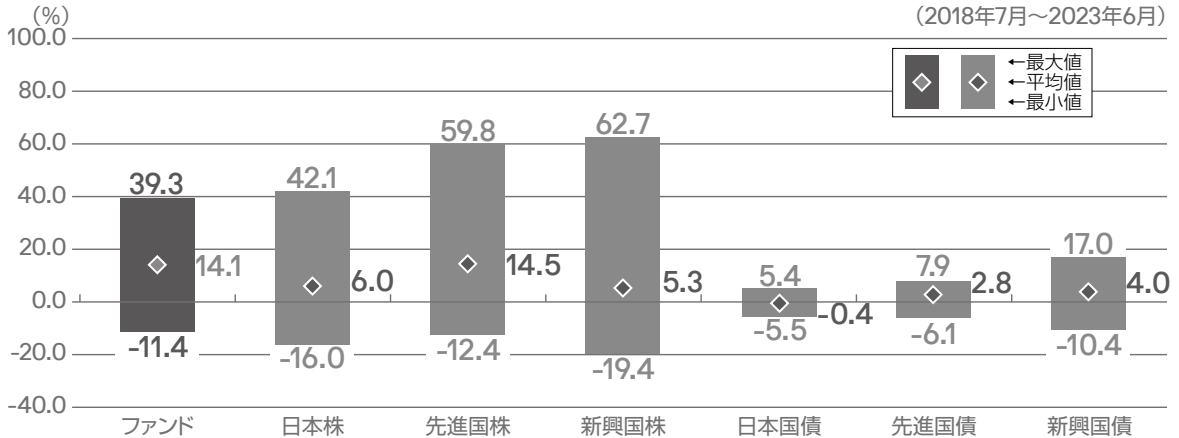
投資先ファンドを主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。

当該投資信託の概要と仕組み

| | | |
|-----------------|--|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 | |
| 信託期間 | 2013年7月26日から2028年7月25日（休業日の場合は翌営業日）までです。 | |
| 運用方針 | 投資先ファンドを通じて、主として世界の医療関連企業の株式に実質的に投資することにより、この投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。 | |
| 主要投資 (運用) 対象 | 当ファンド | 以下の2ファンドを主要投資対象とします。 |
| | | ①JPモルガン・ファンズグローバル・ヘルスケア・ファンド 世界の医療関連企業の株式を主要投資対象とします。 ②GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用） マザーファンドを通じ、円建ての公社債を主要投資対象とします。 |
| 組入制限および 運用方法 | 当ファンド | ファンド・オブ・ファンズ方式により運用します。「JPモルガン・ファンズグローバル・ヘルスケア・ファンド」の組入比率を高位に保つとともに、円建ての公社債に投資する「GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用）」にも投資します。 為替ヘッジは行いません。株式への直接投資は行いません。投信および外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| | | ①JPモルガン・ファンズグローバル・ヘルスケア・ファンド ・1企業に対する投資比率は、当該投資先ファンドの総資産額の10%以下とします。 ・当該投資先ファンドの総資産額の5%を超えて投資する企業への投資比率の総計は、当該投資先ファンドの総資産額の40%以下とします。 ②GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用） 株式への実質投資割合は、純資産総額の10%以下とします。外貨建資産には投資しません。 |
| 分配方針 | 年4回（原則として1月、4月、7月、10月の各25日）決算日に基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 | |

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

年間騰落率（毎月末時点）の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



- (注)
- ファンドの分配金再投資基準価額および年間騰落率は、実際の基準価額およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
 - ファンドの年間騰落率（毎月末時点）は、毎月末とその1年前における分配金再投資基準価額を対比して、その騰落率を算出したものです。（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。設定から1年未満の時点では算出されません。）
 - 分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。
 - 代表的な資産クラスの年間騰落率（毎月末時点）は、毎月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。）
 - ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の毎月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。
 - ファンドは、代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。
 - 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

○代表的な資産クラスを表す指数

- 日本株・・・TOPIX（配当込み）
- 先進国株・・・MSCI コクサイ指数（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバル（円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジを行わないものとして算出されたものです。なお、MSCI コクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、委託会社で円換算しています。

TOPIX（東証株価指数）は、株式会社JPX 総研又は株式会社JPX 総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。MSCI コクサイ指数およびMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。MSCI コクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、同社が発表したMSCI コクサイ指数（配当込み、米ドルベース）およびMSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）を委託会社にて円ベースに換算したものです。

NOMURA-BPI（国債）は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属しております。また、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関し一切責任を負うものではありません。

FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバルは、JPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

当ファンドのデータ (2023年7月25日)

◎組入資産の内容

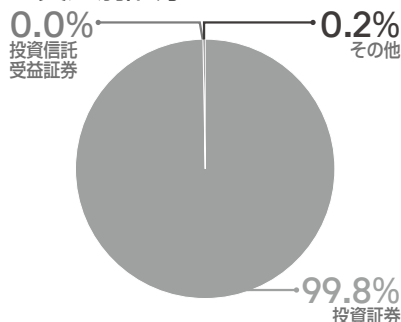
○組入ファンド等

| | | |
|-----------------------------------|------|---|
| JPM Global Healthcare X | 99.8 | % |
| GIM ジャパン・マネープール・ファンドF (適格機関投資家専用) | 0.0 | |
| その他 | 0.2 | |
| 組入銘柄数 | 2銘柄 | |

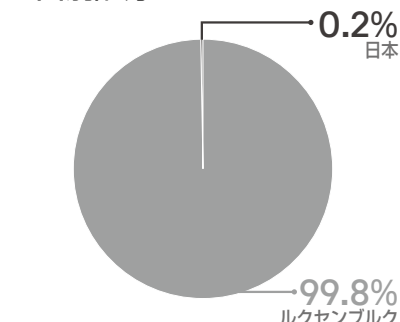
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です(以下同じ)。

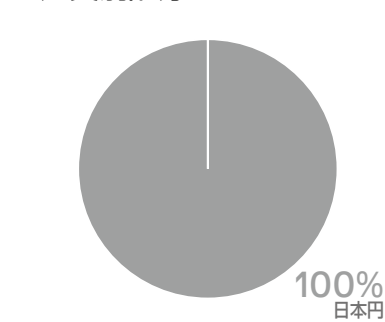
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。なお、当ファンドの実質的な投資内容は、次ページ以降をご参照ください。

◎純資産等

| 項 目 | 第39期末 | 第40期末 |
|------------|-----------------|-----------------|
| | 2023年4月25日 | 2023年7月25日 |
| 純資産総額 | 80,894,937,829円 | 89,001,124,357円 |
| 受益権総口数 | 75,478,043,614口 | 79,842,237,718口 |
| 1万口当たり基準価額 | 10,718円 | 11,147円 |

(注) 当作成期間(第39期~第40期)中における追加設定元本額は11,753,954,605円、同解約元本額は6,651,741,855円です。

◎組入上位ファンドの概要

◆JPモルガン・ファンズ・グローバル・ヘルスケア・ファンド (2022年6月30日)

JPM グローバル・ヘルスケア (Xクラス)

世界の医療関連企業の株式を主要投資対象とします。

◎基準価格の推移



◎直近計算期間におけるTER (総費用率)

0.14%

(注) TER (総費用率) は、運用にかかる費用の合計をファンドの純資産の日次平均に対する比率で表したものです。運用にかかる費用の合計には、保管報酬、税金、その他費用が含まれております。当座貸越利息と実績報酬は計算対象から除いております。日々の純資産に対してかかる年率0.50%の運用報酬は含みません。

(注) 1万口当たりの費用明細が取得できないため、TER (総費用率) を表示していません。

◎組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 国(地域) | 業種/種別等 | 比率 |
|--------------------------------|-------|-----------|------|
| UnitedHealth Group, Inc. | 米国 | 医療・健康サービス | 9.2% |
| AbbVie, Inc. | 米国 | バイオテクノロジー | 5.9% |
| Eli Lilly & Co. | 米国 | 医薬品 | 5.2% |
| Thermo Fisher Scientific, Inc. | 米国 | 医療機器・器具 | 4.6% |
| AstraZeneca plc | 英国 | 医薬品 | 4.2% |
| Bristol-Myers Squibb Co. | 米国 | 医薬品 | 4.0% |
| Novo Nordisk A/S 'B' | デンマーク | 医薬品 | 3.6% |
| Centene Corp. | 米国 | 医療・健康サービス | 2.9% |
| Johnson & Johnson | 米国 | 医薬品 | 2.8% |
| Amgen, Inc. | 米国 | バイオテクノロジー | 2.6% |
| 組入銘柄数 | | | 83銘柄 |

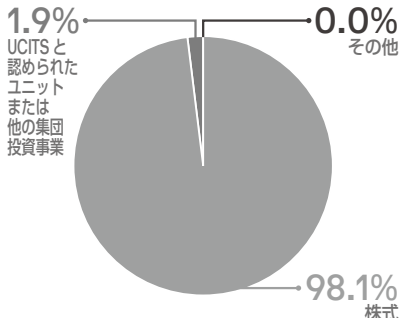
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 国(地域)別については、MSCI分類に基づき分類しておりますが、当社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。

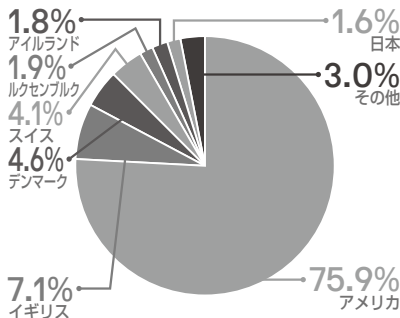
(注) 業種別については、当社グループの判断に基づき分類しています。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

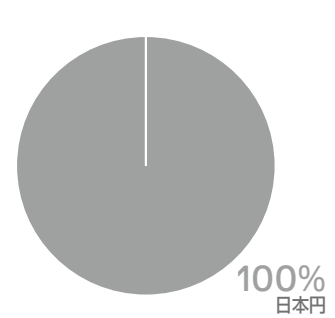
◎資産別配分



◎国別配分



◎通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 資産別配分のその他は、現金・預金・その他資産(負債控除後)です。国別配分のその他は現金・預金・その他資産(負債控除後)を含みます。

(注) 国別配分は、監査済み年次報告書にもとづき表示しています。

(注) 通貨別配分は、監査済み年次報告書に開示されていないため、建値通貨を表示しています。

◎組入上位ファンドの概要

◆GIM ジャパン・マネープール・ファンドF (適格機関投資家専用) (2023年1月16日)

GIM ジャパン・マネープール・ファンドF (適格機関投資家専用) は、GIM マネープール・マザーファンド (適格機関投資家専用) を主要投資対象とします。

◎基準価額の推移



◎1万口当たりの費用明細

(2022年1月15日~2023年1月16日)

| 項目 | 当期 | |
|---|-------------------------|--|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社) | 10 (7) (1) (2) | 0.105 (0.072) (0.011) (0.022) |
| (b) その他費用 (監 査 費 用) (そ の 他) | 7 (2) (5) | 0.073 (0.020) (0.054) |
| 合 計 | 17 | 0.178 |

期中の平均基準価額は、9,976円です。

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

◎マザーファンドの組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 業種 / 種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|----------------|----------|-----|-------|-------|
| 第141回利付国債(5年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 29.2% |
| 第340回利付国債(10年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 13.9 |
| 第353回利付国債(10年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 6.4 |
| 第116回利付国債(20年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 2.7 |
| 第154回利付国債(20年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 1.7 |
| 第129回利付国債(20年) | 国債証券 | 日本円 | 日本 | 0.9 |
| — | — | — | — | — |
| — | — | — | — | — |
| — | — | — | — | — |
| — | — | — | — | — |
| 組入銘柄数 | | 6銘柄 | | |

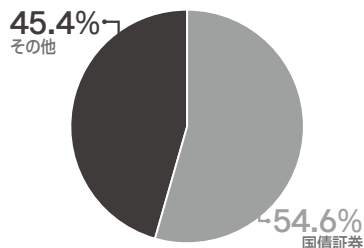
(注) 国(地域)は発行国または地域を表示しています。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) ファンドはマザーファンドを通じて投資を行うため、マザーファンドの投資銘柄をファンドが直接保有しているものとみなし、ファンドの純資産総額に対する投資比率として計算しています(以下同)。

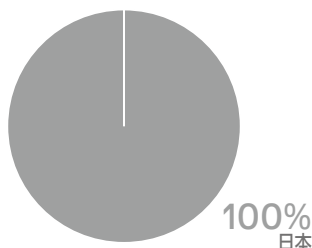
◎資産別配分



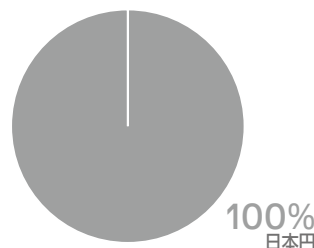
(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。

(注) その他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。

◎国別配分



◎通貨別配分



余白

余白

余白

